

# アリピプラゾールOD錠「JG」 服用される患者さまとご家族の方へ

このお薬を服用する際は、以下のような副作用があらわれることがあります。

次のような症状がみられた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

## ◆高血糖や低血糖があらわれることがあります。

### ○ 高血糖の症状

- ・ 激しくのどが渇く、水やジュースを多く飲む
- ・ トイレの回数が多くなった、尿の量が増えた

### ○ 低血糖の症状

- ・ 脱力感、倦怠感
- ・ 冷や汗
- ・ 手足のふるえ
- ・ 眠気でぼんやりする
- ・ 意識の低下

## ◆衝動が抑えられない状態があらわれることがあります。

- ・ 社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、**ギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進する**など、**衝動が抑えられない状態**があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

## ◆体重が増加したり減少する場合があります。

- ・ 体重の変動（増加、減少）が見られた場合には、他の病気を合併している可能性もありますので、医師にご相談ください。

## ◆その他の注意すべき副作用

以下のような症状が出た場合は、ただちに受診してください。

- ・じっとして動かない、筋肉のこわばり、発汗：**悪性症候群**
- ・顔、特に口の周囲の絶え間ない不随意運動：**遅発性ジスキネジア**
- ・飲食物や胃液などが誤って気管に入った後の発熱、咳、痰、息切れ：**嚥下性肺炎**
- ・食欲不振、吐き気・嘔吐、著しい便秘：**麻痺性イレウス**
- ・かゆみ、蕁麻疹、顔面潮紅・腫脹：**アナフィラキシー**
- ・筋肉痛、脱力感、赤褐色尿：**横紋筋融解症**
- ・口渇、多飲、多尿、頻尿：**糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡**
- ・脱力感、倦怠感、冷汗：**低血糖**
- ・筋肉が発作的に収縮する状態：**痙攣**
- ・発熱、のどの痛み：**無顆粒球症、白血球減少**
- ・急に息苦しく感じたり、胸苦しさを感じる、片方のふくらはぎが赤く腫れたり、ふくらはぎを押すと痛む：**肺塞栓症、深部静脈血栓症**
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる：**肝機能障害**

## ◆服用中の注意

- ・このお薬は体調がよくなったと自己判断して服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。**指示どおりに飲み続けることが重要です。**
- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下がおこることがあるので、**自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。**
- ・他のお薬と組み合わせることにより、このお薬の作用が強く出たり、副作用が出たりすることがあるので、**このお薬を服用中に他のお薬を新たに使用する場合は、医師または薬剤師にお伝えください。**

気になることがありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。